

ワイドウォール工法

Locacon®

NETIS登録:SK-050012-A(掲載終了)

大型ブロック道路拡幅工法



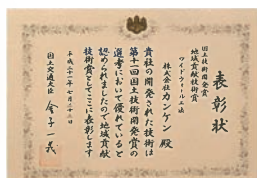
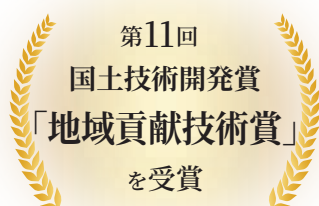
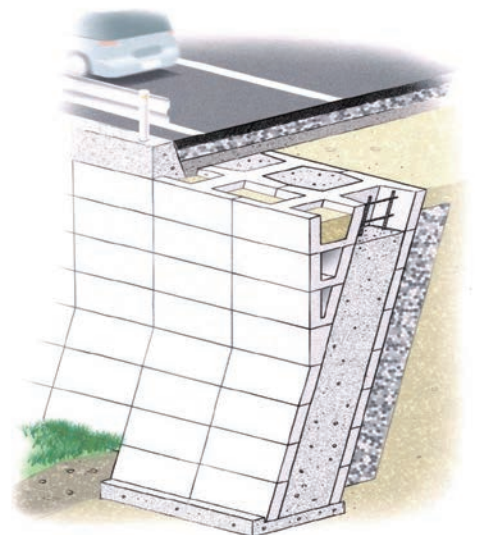
特 長

ワイドウォール工法とは、ブロックの積み上げと同時に完成する道路拡幅システムで、大型ブロック上部を台形状ブロックにすることで道路拡幅を行う工法です。

従来の大型積みブロックの施工と同様に、ブロックを積み上げるだけで道路拡幅ができ、ワイドウォールブロック3段の積み上げで最大約2.0mの道路拡幅が可能となります。

全面的な2車線化が難しい

山間部の待避所やバス停・歩道の設置に最適です



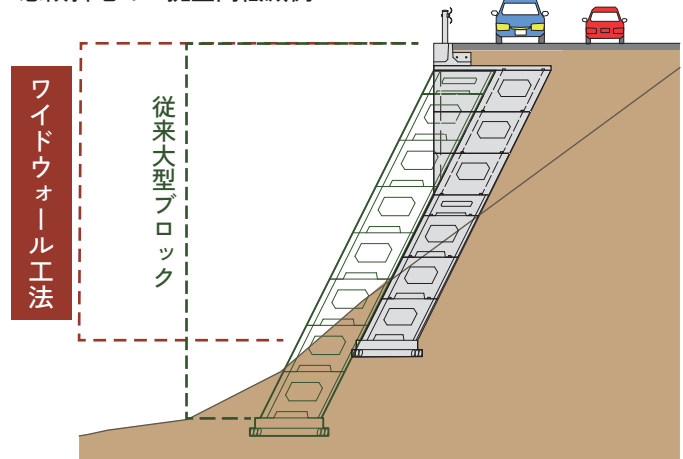
主催：(財) 国土技術研究センター
(財) 沿岸技術研究センター
後援：国土交通省

擁壁直高を抑えられます

ブロック上部が台形形状に広がるため擁壁直高を抑えることができます。このため、擁壁控えが小さくなり、経済性・施工性の向上に貢献します。

従来の5分勾配擁壁よりも
擁壁高を低く抑えられます

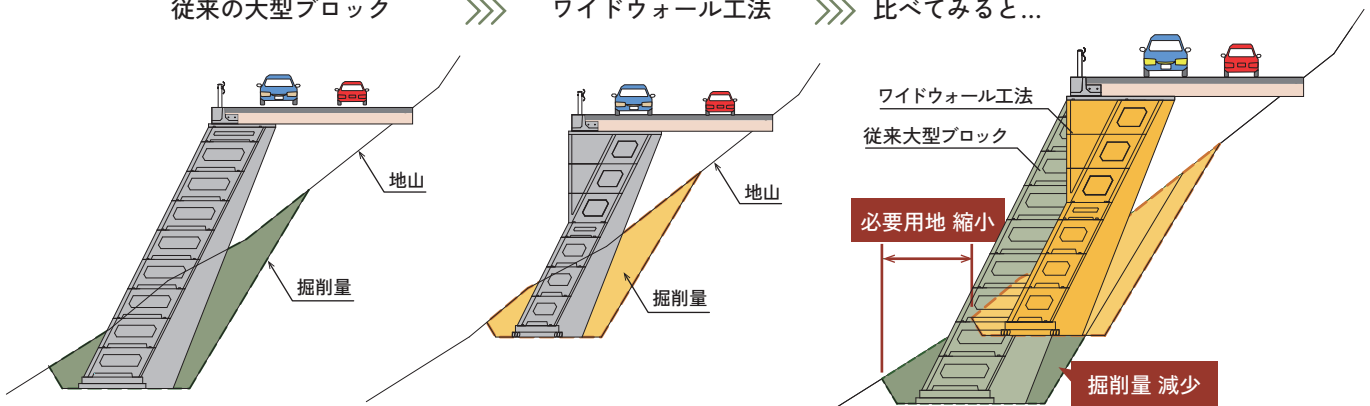
■ 急傾斜地での擁壁高低減例



必要用地・土工量の削減に効果的です

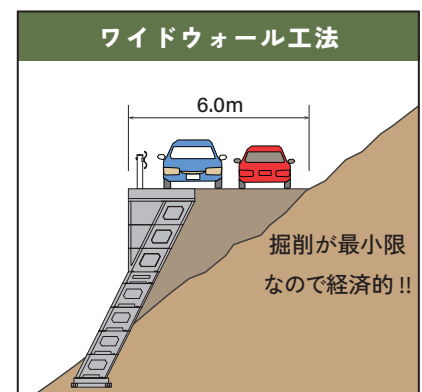
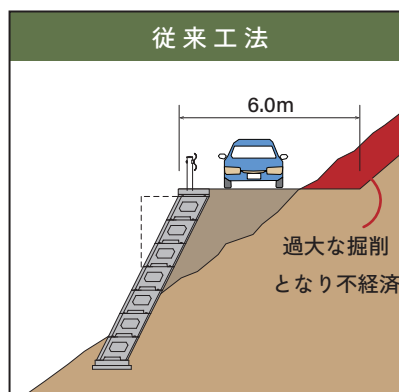
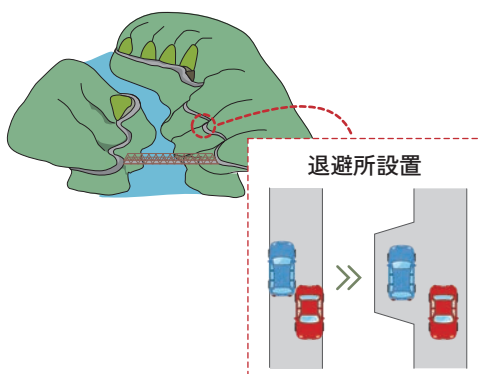
必要拡幅幅に対し擁壁直高が小さくなるため土工量を大幅に削減可能となり、工期短縮・全体工事費の縮小に貢献します。また、必要用地も小さくなるため周辺環境への影響を最小限に抑えられます。

従来の大型ブロック >>> ワイドウォール工法 >>> 比べてみると...



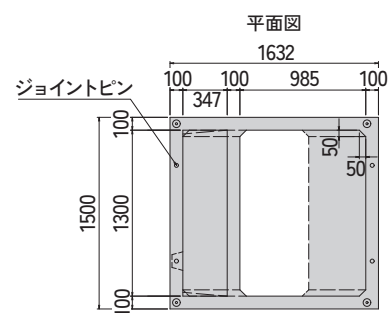
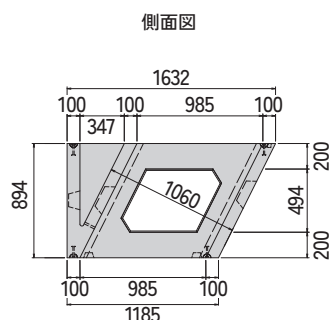
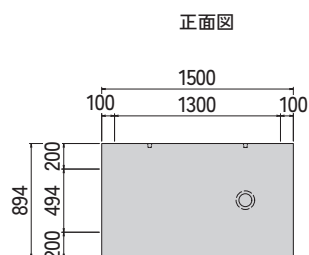
山間部における1.5車線化に最適です

1.5車線道路整備とは、山間部などの矮小道路において1車線の道路に待避所等を設け、部分的に2車線化を行う整備方法です。ワイドウォール工法は掘削影響を最小限にできるため、小さなコストで1.5車線化整備が可能となります。

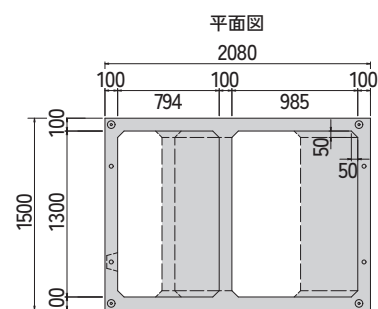
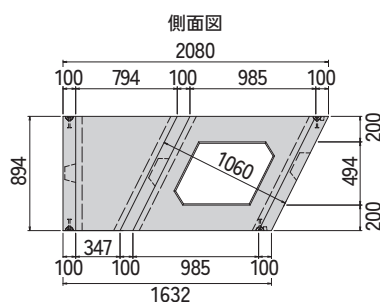
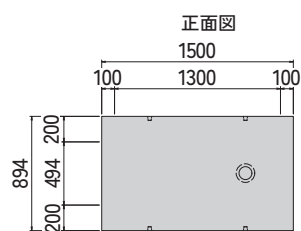


規格寸法図

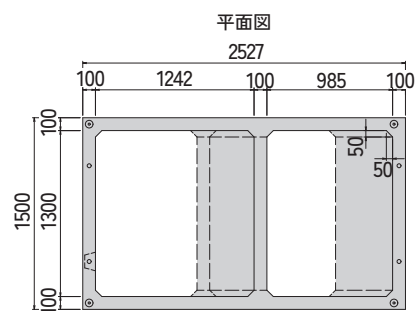
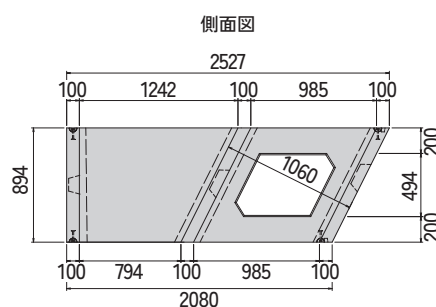
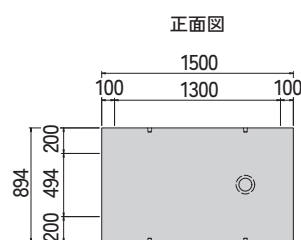
■ 1 段目ブロック（最下段用）



■ 2 段目ブロック（中段用）

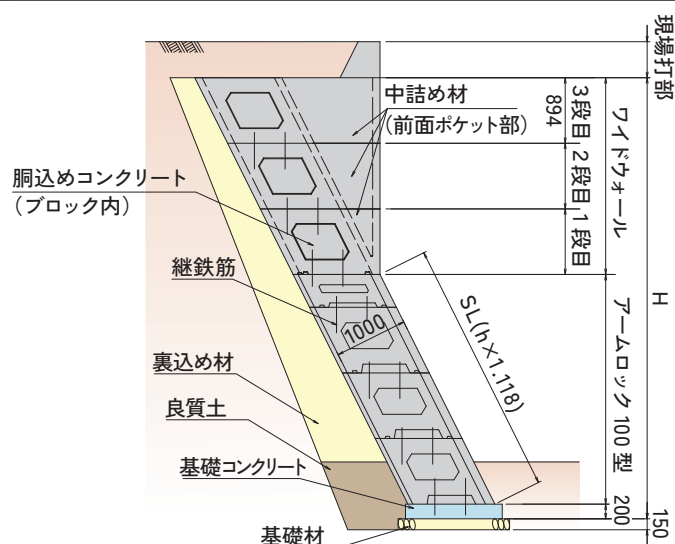


■ 3 段目ブロック（最上段用）



呼び名	胴込めコンクリート (m³/個)	中詰め材 (前面ポケット部) (m³/個)	製品質量 (kg/個)
1 段目ブロック	1.200	0.152	1261
2 段目ブロック	1.200	0.659	1479
3 段目ブロック	1.200	1.179	1666

標準断面図



ワイドウォールブロックは
アームロック 100 型と接続します。

施工手順

1. 1 段目ブロック据付



2. 2 段目ブロック据付



3. 生コン打設状況



4. 3 段目ブロック据付



5. 完成



※ワイドウォールブロックの表面は滑面です。

2 段目ブロック（中段用）
製品写真 ▶



◀ 1 段目ブロック
（最下段用）製品写真

施工事例

■ 長野県飯田市 （飯田市上郷 東新町座光寺線）



■ 長野県松本市



■ 高知県 （高知県高知市 市道鏡 10 号線）



■ 国土交通省 （広島県福山市 国道 2 号線）



■ 香川県 （香川県小豆島 芦ノ浦農道）



■ 静岡県 （静岡県周智郡 県道大河内森線）

